

令和6年度 青果物販売情勢について

令和6年5月16日（木）現在

【いちご】

気温上昇の中で福岡産の競売が終了、東北産中心の販売環境となってきた。各産地品傷みなど品質低下が見られ末端では冷ケースでの売場切替が進んでおり相場は保合です。

【単価】 250g パック（とちおとめ） 2 L 300-280 円 L 300-250 円 A 270-240 円

【アスパラ】

不足感のある販売環境から九州産夏芽・北海道産を中心に増量が見込まれるため不足感は解消に向かい、荷動きを止めないよう相場は弱める見通しです。

【単価】 100g 束 AL 180-170 円

【スナップえんどう】

茨城・山形県産の増量に加え、福島県産露地の出荷ピークとなるため末端価格を下げ特売注文を増やし拡販を図るよう相場を下げた販売となる見通しです。

【単価】 ハウス A 1600-1500 円 露地 A 3500-3000

【さやえんどう】

九州産の入荷回復は見込めないが後続の福島県・新潟県などの増量が見込まれるため相場を下げた売り場を広げる販売となる見通しです。

【単価】 ハウス A 1400-1300 円 露地 A 3000-2500

【きゅうり】

好天が続く夜温の上昇が見込まれることから関東産中心に入荷量は増量見込みのため相場を弱めて売り場を確保する販売となる見通しです。

【単価】 A 2000-1800 円 B 1800-1600 円